

事業所名		発達センターあつた				公表日	2026年 3月 24日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2		・狭く感じることもある。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	6	・医ケア児の入園にあたって、看護師が増えた。	・障害や自立の程度によっては現在の配置では難しいと感じる。 ・配置は適切だが、介助の多い子どもたちなど給食にもう1名欲しい時がある。 ・年齢に応じて介助の部分が違うので、低年齢に対してプラスでつけるが良い。 ・午後は寝ない子どもが多く、体制が定まりにくい。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	10	6	・修繕は行っている。 ・子どもたちが怪我をしないような環境になっている。壁が2つあったり、トイレがバリアフリーになっている。	・バリアフリーが必要な箇所はいくつかある。 ・老朽化もあり、もう少しバリアフリーが増えても良い。 ・バギーを持ち上げなければならない箇所がある。 ・未歩行児が動くときに廊下などのスペースが狭い時がある。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	6	・怪我をしそうな場所には、怪我防止のコーナガードなどを付けている。	・掃除が行き届いていない場所も多々ある。 ・古さを感じる。 ・トイレのサイズが未歩行児で小さい。 ・床暖房がないため、裸足の生活、未歩行児の環境改善は必要。 ・床の穴やごきぶりが多く、衛生面が気になる。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	7	・空き部屋はないが、外や遊戯室などを活用している。 ・同室内をパーテーションで区切るなどの対応をしている。	・空き部屋がないと対応できないため、個室が増えれば対応できる。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	16	0				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16	0	・反省点や保護者の意見を加味し、行事につなげている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	4		・面談がある時は伝えられるが、普段はあまりない。 ・業務改善がなかなか進んでいないので、意見をもう少し取り入れてほしい。 ・面談をする機会が少ない。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	2		・評価はあるが、どこまで改善されているかわからない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	・定期的な研修がある。 ・研修費も出るため、積極的に研修に参加しやすい。 ・ただ研修をするのではなく、職員にどんな研修を受けたいか聞いている。	・研修内容を職員から案を出してもらっても良いと思う。		
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	16	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	2	・担任(担当)の職員の意見をもとに作成している。	・全員での共有は難しいので、デジタル化などをすると良い。 ・クラスの子どもは把握しているが、全員は理解していない。		
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16	0		・共有はされているが、計画に沿っていないこともある。		
	15 こどもの行動観察の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15	1				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のぬらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16	0				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	3		・保育リーダーだけでなく、みんなで作えられるといい。 ・リーダーが主になることが多い。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	2	・クラス担任で考え、色々な意見を出している。	・固定化はされている。時間がなくて、新しいことをやる難しさがある。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14	2		・個別活動の時間を体制上、保障しきれない時もある。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	4	・みんなが集まるのは難しいが、情報連携している。	・打ち合わせが十分にできないことがある。 ・朝の打ち合わせ時間がもっとほしい。 ・バス添乗や他事業の時間調整などで、打ち合わせができないことがある。		
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	10	・短時間勤務の方もいるため、時間をずらして行っている。	・勤務時間に差があったり、別業務があるため毎日難しい。 ・時間によっては難しい。 ・他の事業や会議で毎日行えていないため、頻度を増やす工夫が必要。 ・職員の人数を確保することで反省点もあがる時間が作れると思う。 ・改善までは難しいが、職員間でしっかり検討していくことが大切である。			
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15	1					
23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	2					
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	15	1		・必要に応じて行う程度。基本的には保護者からの情報提供。		
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	2				
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1	・転園(就園)する際は、引継ぎ資料の送付やアフター訪問を行っている。	・知らないこともあり、全ての情報共有ができていないこともあると思うが、やる人が決まっていることが問題だと思う。		
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1				
	28 (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	15	0				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門員や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	15	0	・補助がため、研修を受けやすい。	・訓練士がいないので、話せる機会が欲しい。		
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	14	1		・まだ参加したことがないのでわからない。		
	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。						
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	15	・クラス単位で行っている。	・散歩先の公園などで地域の保育園の子と一緒にいることはあるが、交流保育は行ってない。 ・同じセンター内での交流はあるが、子どもの関わりはない。 ・機会はあると思うが、引率が難しい。		
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0	・連絡ノート、週1日の直接登園時に子ども姿を伝えるようにしている。	・親子登園時にお話するようにしているが、全員の親御さんには難しい。		
34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	0	・定期的に保護者研修を行っている。 ・保護者研修、父親研修を実施している。	・保護者からどんな内容の研修を受けたいか、半期に1回アンケートをとってはどうか。 ・行っているが参加者が少ないので、開催曜日、保育ありなど検討がいる。			
35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16	0	・4月の契約時に説明を行っている。				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最高の利益の優先考慮の観点から、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	0		・水曜日の直接登園時や必要な場合には懇談を行い、母または両親と話す時間を作っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	0		・2月に1回兄弟フロア月1回の保護者会（定例会）を実施している。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	7		・紙媒体が多くHPやSNSは活用していない。 ・定期的に通信を発行しているが、紙面でのたよりが多いので検討は必要。 ・子どもに変えると職員の負担も減ると思う。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1		・職員間で基本ルールを再確認する必要がある。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0		・視覚的に伝えることを大事にしているが、やり切れていない。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	1		・あったかカーニバルは地域の住民の来場もあるが、他の行事に関しては地域のつながりはあまりない。 ・コロナ禍の影響が大きい。
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	5	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0		・避難訓練は月1回あるが、内容が大きく変わらないので検討がいる。
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1		・バスにマニュアルを置いている。 ・クラスによって確認していたりする。
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	2		・法人内でも対応が揃っていないように思う。
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	3		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	2		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	0		・週1回確認している。 ・毎週水曜日に全職員で報告、改善点を伝えるようにしている。
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0		・全職員で研修、資料配布など周知するようにしている。 ・今のように年1回研修を受けられると良い。
53		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16	0		・支援計画に記載し、保護者に説明、同意を得るようにしている。